



大阪年金者組合

聞こえのバリアフリーを!

補聴器助成推進ニュース

2024.5.7 15号 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階
TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746



補聴器助成情報を紹介
年金者組合がウェブサイト
も掲載しています。
最新の調査によると、
大阪府本部
実施自治体は4月6日現在で270市区町村に増えました。
大阪府本部執行委員の林洋司さんは、「しんぶん赤旗」の読者のみなさんにも最新情報を見ていただき、要求運動に役立ててもらいたい」と話します。さらに、新たに制度を始めたり変更したりした自治体があれば、ぜひ情報を寄せてほしいと、呼びかけています。

ウェブサイト
osaka-nenkin.com
06(6354)7207
ファクス
06(6354)7746
メール
info@o-nenkin.com

しんぶん赤旗 2024年5月7日 12面



太子町議会



採択

町独自の助成制度請願

賛成は 日本共産党(2) 公明党(1) 自由民主党(1) 無所属(1)
反対は 維新(1) 無所属(2)

太子町議会は 2024年3月定例会で、年金者組合太子・河南支部が提出した「町独自の補助制度の創設」を賛成多数で採択し、4月10日付で太子町長に議長(自由民主党)から提出されました。請願紹介議員は、日本共産党の西田、藤井議員。

太子・河南支部では昨年の河南町6月議会で請願した町独自の助成制度創設と国への意見書を全会一致で採択。今田支部長は「次は太子町の請願に取り組む」と語っていましたが運動の積み重ねで両町で実現しました。次は「町独自の制度導入に全力で取り組む」と抱負を語っています。

全支部から

- ①独自の助成制度創設
- ②国への補助制度創設意見書

請願を提出しよう

今

気運が高まっている

河南町社保協

地域社保協 ここにあり



され、当局も真摯に対応しました。また、金剛バス廃止問題の真つただ中であったため、この問題でも質疑が行われました。キャラバンの運営は事前に打ち合わせが丁寧に行われており、時間配分もしながら進められました。地域の障害児の親の会の皆さんも「これ、2019年までの河南町キャラバンとは全く違う懇談でした。まさに、地域社保協ここにあり、です。(2024.4.23/大阪社保協通信より)

2020年に結成された河南町社保協は「社保協あるとないで大違い」を体現している社保協です。人口1万3千人のこの町で社保協が活発に活動しています。2023年度の河南町キャラバンでは「統一要望」+「地域独自要望」を提出し、10月18日の懇談は3時間半にも及びました。9割が地元の要望に関する懇談で、たとえば「子どもたちが遊ぶ公園がない」「防災倉庫の問題」「桜の木の問題」など…地域住民でしかわからない問題点が多数指摘

